

部局名	産業活力部	所属名	農業研修センター	所属長名	立石 眞	電 話	450-4645
-----	-------	-----	----------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3271		事務事業名称	農業研修センター運営事業					短縮コード	経常	3271	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	07	農業センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市農業研修センターの設置及び管理に関する条例・八千代市農業ボランティア養成講座実施要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
当施設は、昭和59年4月に農業に関わる各種研修会等の開催や農家と都市住民の交流促進などを通じ農業振興を図ることを目的に開設された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして					
農家、農業従事者の減少は今後も続くと推測され、それに伴い農家等の施設利用も減少すると考えられる。しかし都市住民の農業や食に対する関心は高く、各種研修会等の参加希望は今後も増加していくものと思われる。						大項目（節）	01	農業					
						中 項 目	01	農業					
						小項目（施策）	02	農業経営体の育成					
							06	市民とふれあう農業の推進					
						細 項 目	03	後継者の育成					
							02	市民と農家との交流					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	研修センター及び利用者：① 農業従事者、農業関係団体、農業後継者。② 農業に関心を寄せる市民（各種研修会等参加者及び農業ボランティア養成講座受講生等）。③ 利用許可をうけた市民						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ・施設利用申請許可・農業ボランティア養成講座の開催、認証・認証農業ボランティアと受け入れ農家間の調整・各種研修会（地域農産物加工教室、農業女性セミナー等） ・第2回農業とくらしのシンポジウムの開催。						
	※平成20年度に計画していること： 農業ボランティア養成講座，農業とくらしのシンポジウムは引き続き開催予定。各種研修会の中では「地域農産物加工教室」，新規就農者に向けての「就農志向者の農業教室」，地域農産物を使用した加工技術の高度化を目指して「地域農産物活用マイスター講座」を開催予定。						
意図 （何を狙っているのか）	・農業経営の向上及び農村地域の担い手育成と，地域資源を活用した生産者と消費者の交流促進による都市農業の振興。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	研修センター利用者数	人	15,341	14,000	10,728	11,000
	指標2	市内の受入れ農家数	戸	11	11	11	13
	指標3	農業ボランティア登録者	人	211	230	221	250
活動指標	指標1	利用許可数（多目的ホール・和室・洋室会議室等）	件	784	700	699	700
	指標2	市民向け教室・講習会の回数	回	52	50	43	50
	指標3	農業従事者向け研修・農業ボランティア養成講座の回数	回	153	150	144	150
成果指標	指標1	教室・講習会の延べ参加人数	人	587	500	469	500
	指標2	農業従事者向け研修等の延べ数	人	1,317	1,350	693	1,000
	指標3	農業ボランティア認証書を授与した者の延べ数	人	211	230	221	250
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業			所属名	農業研修センター
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円		262	269		
		地方債	千円					
		一般財源	千円	8, 203	6, 962	6, 615	7, 326	
		その他	千円	24				
	主な事業費の内訳			報酬2436千円、賃金951千円、報償費85千円、消耗品133千円、燃料費56千円、光熱水費1115千円、修繕費100千円、通信運搬費150千円、保険料45千円、清掃委託料467千円、機械警備委託料99千円、電気工作保安委託料110千円、電子コピー保守	報酬2436千円、報償費240千円、旅費11千円、消耗品費130千円、燃料費56千円、印刷製本費6千円、光熱水費1213千円、修繕料230千円、通信運搬費393千円、保健料87千円、委託料1954千円、備品購入費190千円	報酬2436千円、報償費145千円、消耗品費129千円、燃料費54千円、光熱水費10711千円、修繕料222千円、通信運搬費3231千円、保険料76千円、委託料19401千円、使用料及び賃借料293千円、備品購入費190千円	報酬2436千円、報償費260千円、消耗品費180千円、燃料費56千円、光熱水費1136千円、修繕費300千円、通信運搬費359千円、保険料109千円、委託料1953千円、使用料賃借料396千円、備品購入費84千円	
	人件費 (B)			千円	20, 986. 6	22, 987. 5	23, 694. 7	22, 981. 5
トータルコスト (A) + (B)			千円	29, 213. 6	30, 211. 5	30, 578. 7	30, 307. 5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		都市型農業の展開が多様化する中で、この事業によって都市住民との交流促進や農業技術・農業経営向上等を図ることで農業振興に結び付けられる。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		多様化・変化するニーズや社会的要求を的確にとらえた研修会等を開催し、今後も農業振興を図っていく。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		この事業は、八千代市農業の政策的な役割を担っている。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		「対象」・「意図」の変更は無い。しかし時代の変化に伴い農業のあり方が変化しており、その動向を把握していく。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		・今後も、事務事業の目標等に大きな変更はないため、変わらないものと考えられる。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
		⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業				所属名	農業研修センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業経営の多様化が進むなかで、当農業研修センターにおいては時代のニーズに合った研修会等を開催していく。また、消費者等に身近な生産地として理解を深めてもらうために、交流事業等も推進していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後も、事務事業の目標等に大きな変更はないため、変わらないものと考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・施設設置目的以外の利用が増えており、将来の農業振興につながる運営を検討すべき。 ・市の農業振興施設（研修等）としては唯一の施設であるため、存続して欲しいとの農業関係者の要望あり。 ・多様な各種研修会の開催。 ・農家と都市住民との交流事業の促進。									

所属長コメント	・八千代市の農業の担い手育成、農業経営者の各種団体への指導、農業経営の一翼を担いつつある農業ボランティア養成講座を通じて、都市住民への農業に対する理解を深めるように各種事業を推進する。 ・妥当な評価である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									